

共同リポジトリ モデルの構築と普及

広島大学・岡山大学・山形大学・埼玉大学・広島工業大学・長崎国際大学
北海道大学・千葉大学・金沢大学・大阪大学

地域共同リポジトリ一覧

ゆうキャンパスリポジトリ

新潟県地域共同リポジトリ
NIRR

埼玉県地域共同リポジトリ
SUCRA

福井県地域共同リポジトリ
CRFukui

岡山共同リポジトリ
O-AIR

広島県大学共同リポジトリ
HARP

山口県大学共同リポジトリ
維新

沖縄地域学リポジトリ
ORION

本プロジェクトは、中小規模機関のリポジトリ構築への障壁を除去する共同リポジトリのシステムと運用モデルの改善・構築、および担当者育成を行うことで、共同リポジトリの全国的な普及とオープンアクセスの拡大を目的としています。

わかちあい
ひろげるOA

ShaReプロジェクトのシンボルイメージは、「一つの容器に入ったさまざまな色の色鉛筆」です。さまざまなカラーの機関が一つのリポジトリを分け合い、スキルを共有する「共同リポジトリ」をあらわしています。

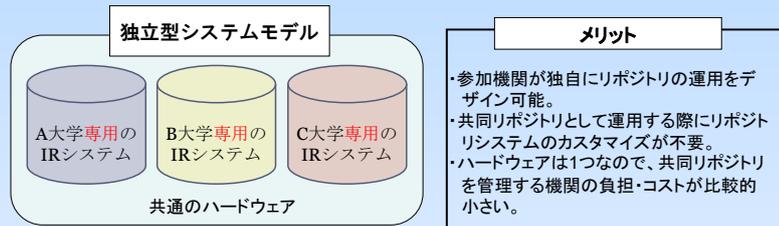
Shared Repository, Shared Pleasure

平成20年度成果

システムモデルの開発・改善

(1) 独立型共同リポジトリシステムモデルの構築

VMware Server (Free Software) を用いてOSレベルで仮想的にサーバを独立させることで、参加機関ごとに独立した複数のリポジトリシステムの構築・運用可能である共同リポジトリモデルの開発を行った。現在、岡山共同リポジトリ(O-AIR)がこのモデルを用いて運用を行っている。

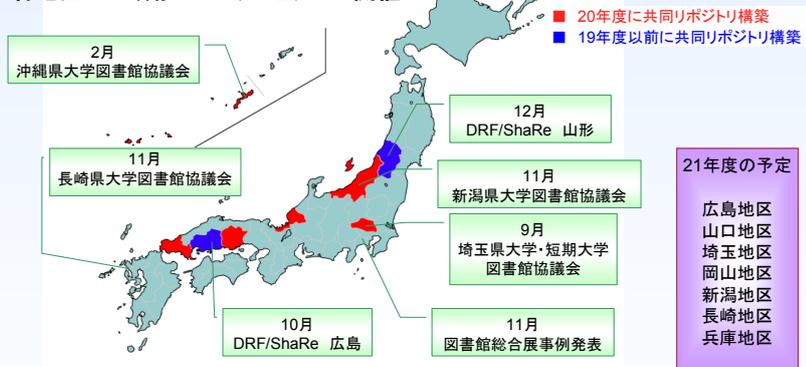


(2) 管理者権限の修正 (DSpace)

共同リポジトリ運用上の課題であった、各機関の担当者が自機関のコンテンツやコレクションを自由に変更・削除・追加できない点や全体の管理者に作業が集中するといった点を解消するためにDSpaceのプログラム修正を行い、各参加機関の担当者が簡易的な管理者となることができる機能を追加した。これにより、既存のソフトウェアでは不可能であった各機関の管理者と全体の管理者の設定および適切な権限付与が可能になった。

担当者育成

各地区での研修・ワークショップの開催



紀要・研究者一覧サイトの開発

機関リポジトリのコンテンツ蓄積部分とサービス部分を分離してより柔軟なポータルサービスを提供することを目的として紀要一覧ページと研究者紹介ページの開発を行った。このプログラムは汎用的なプロトコルであるOAI-PMHを用いているため、Juni2に対応した機関リポジトリであれば、共同リポジトリに限らず、どの機関リポジトリでも個別のソフトウェアを改修することなく実装が可能である。



(上から)
10月 広島
11月 長崎
11月 新潟
12月 山形
2月 沖縄
の
各研修会

CONTACT

広島大学図書館
学術情報リポジトリ主担当

tosho-seibi-repo@
office.hiroshima-u.ac.jp

TEL : 082-424-6228
FAX : 082-424-6221